

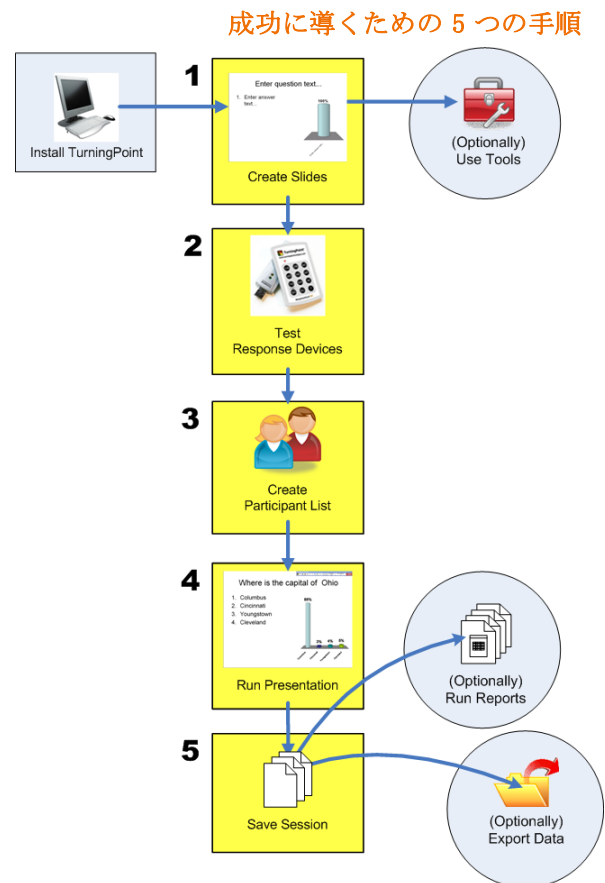
# 2 TurningPoint の使用の開始

TurningPoint でインタラクティブなプレゼンテーションを作成するプロセスは非常にシンプルです。本章では、簡単な 5 つの手順で、インタラクティブなプレゼンテーションの結果を正常に構築、収集、および保存できることを学びます。

## プレゼンテーションを成功に導くための 5 つの手順

TurningPoint でインタラクティブなプレゼンテーションを作成するには、5 つの簡単な手順を実行します。

**注記** 下記の手順は、プレゼンテーションを成功させるための提案の概要です。手順をこの順番で実行する必要はありません。当てはまらない手順は省略することができます。



このセクションでは、5 つの手順を正常に実行する方法について説明します。

- **手順 1: プレゼンテーション スライドの作成**
- **手順 2: レスポンス デバイスのセットアップ**
- **手順 3: 参加者リストの作成**
- **手順 4: プレゼンテーション セッションの実行**
- **手順 5: セッション結果の保存**

---

## 手順 1: プレゼンテーション スライドの作成

TurningPoint を使用してインタラクティブなプレゼンテーションを作成するには、スライドの作成など、基本的な PowerPoint の知識が必要です。スライドに TurningPoint のオブジェクトを追加すると、参加者はプレゼンテーションと対話することができます。TurningPoint のオブジェクトには、[今すぐ回答] のプロンプト、カウントダウン タイマやレスポンス カウンタなどが含まれています。

### 始める前に

プレゼンテーションの実行に使用するコンピュータに TurningPoint をインストールします。

シンプルなスライドを作成するには …






























- 1 Turning Point ツールバーの [スライドの挿入] をクリックします。

メニューが開き、さまざまな定義済みスライドが表示されます。各スライドは、そのまま使用することも、カスタマイズすることもできます。

## 手順 1: プレゼンテーション スライドの作成

[スライドの挿入]メニューのエントリの上にカーソルを移動すると、スライド名がハイライトされます。スライドの詳細については、33 ページの「[スライドの種類](#)」を参照してください。

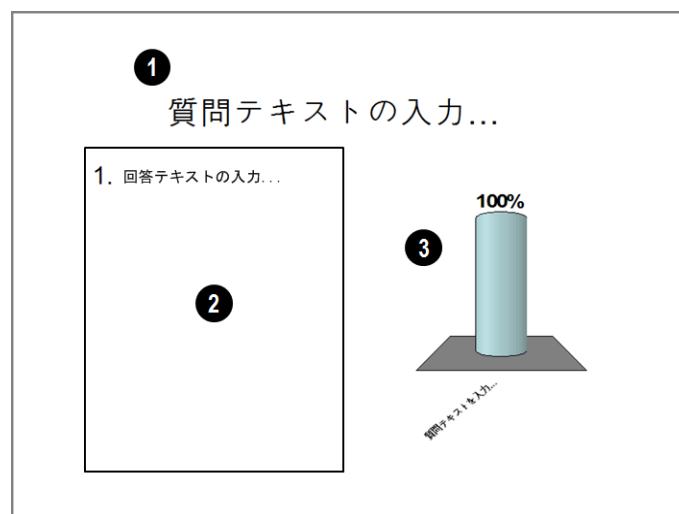
### スライドの挿入

	縦棒スライド
	横棒スライド
	3D円グラフスライド
	分配型の円グラフスライド
	オフセットスライド
	ドーナツ型スライド
	レスポンスのみ
	チーム割り当てスライド
	参加者順位表
	チーム順位表
	チーム MVP
	最も早い回答者
	レース順位表 ▶
	賭けスライド
	はい/いいえ
	正誤
	はい/いいえ/無回答
	意見スライド ▶
	汎用スライド ▶
	アイスブレイクスライド ▶
	ResponseCard RF のチャンネル設定スライド
	ResponseWare ログイン
	空白入力スライド
	数字のレスポンススライド
	エッセイスライド
	優先度ランキング
	デモグラフィック比較
	比較リンク
	現行評価 (5段階評価)

2 [縦棒スライド]を選択します。

TurningPoint によって [縦棒スライド] が挿入されます。スライドには質問、回答、そしてグラフ領域が含まれています。

### [縦棒スライド] の挿入



- ① 質問の領域 - 「質問テキストの入力 ...」
- ② 回答の領域 - 「回答テキストの入力 ...」
- ③ グラフの領域 - この例は縦棒グラフです。グラフはスライド上の任意の位置に配置できます。

### 3 質問の領域を選択して、質問を入力します。

領域を選択するとテキストがハイライトされます。ハイライトされたテキストは、入力した質問に置き換えられます。

### 4 回答の領域を選択して、回答を入力します。

スライド 1 枚につき、最大で 10 の回答を入力できます。

### 5 手順 1 から 4 を繰り返して、追加のスライドを挿入します。

### 6 TurningPoint を終了する前に、PowerPoint のツールバーでファイルを保存します。

#### 次の手順

スライドは、さまざまなアニメーション効果が適用されたフィードバック機構を使用してカスタマイズすることができます。これらのオブジェクトおよびその他の機能の詳細については、**第 3 章「スライドの作成と保存」**を参照してください。

## 手順 2: レスポンス デバイスのセットアップ

出席した各参加者は、レスポンス デバイスを使用して、プレゼンテーションで行われた質問に回答します。

TurningPoint では、赤外線および無線のレスポンス・カードのほか、ResponseWare など、さまざまなレスポンス デバイスをサポートしています。

**注記** TurningPoint は、キーパッドのレスポンス・カード ファミリーだけをサポートしています。

### 始める前に

TurningPoint は、プレゼンテーションを実行するコンピュータにインストールしておく必要があります。また、テスト用に、レスポンス デバイス レシーバとレスポンス デバイスを使用できるようにしておく必要があります。

レスポンス デバイスをセットアップするには…

- 1 プレゼンテーションを実行するコンピュータの USB ポートにデバイス レシーバを接続します。

コンピュータに USB レスポンス デバイス レシーバを接続します。Windows はレシーバを検出して、適切なドライバをインストールします。これでデバイスを使用する準備ができました。

### 赤外線および無線のレスポンス デバイスのレシーバ



TurningPoint 2003 または 2006 用にライセンスされたレスポンス デバイスを使用する場合には、レシーバのライセンス コードをアップグレードする必要があります。アカウント担当者にお問い合わせ、TurningPoint バージョン 4.0 以降用の新しいライセンス コードを受け取ってください。

- 2 必要な場合には、レスポンス デバイスをアップグレードします。そうでなければ、手順 3 に進みます。

## 手順 2: レスponse デバイスのセットアップ

レスponse デバイス レシーバをまだアップグレードしていない場合には、この手順を実行する必要があります。

- a. TurningPoint ツールバーから [ ツール ] > [TurningPoint レシーバのアップグレード ] を選択します。画面の説明に従います。

### レスponse デバイスのアップグレード



- 3 TurningPoint ツールバーから [ ツール ] > [ 設定 ] を選択します。

## 手順 2: レスponse デバイスのセットアップ

[TurningPoint の設定] ウィンドウが開き、2 つのタブが表示されます。[設定] と [投票テスト] です。

### [設定] ウィンドウ



#### 4 [設定] タブを選択します。

[設定] タブの左ペインには設定の階層、右ペインには使用可能な設定が表示されます。

#### 5 設定の階層から [レスポンス デバイス] を選択します。

## 手順 2: レスpons デバイスのセットアップ

[設定] ウィンドウの右ペインにレスpons デバイスの設定が表示されます。[すべての設定] を選択して、付加的な設定にアクセスします。

### ウィンドウの設定: レスpons デバイス



**注記** ResponseWare は、レスpons デバイスのソフトウェアバージョンです。ResponseWare もデバイスのセットアップ中に識別される必要があります。デバイスのセットアップの詳細については、**第 4 章「レスpons デバイスの設定の管理」** を参照してください。

## 6 使用予定のデバイス数を入力します。

入力する必要があるのは、自動シミュレーション、レスpons カウンタまたはレスpons テーブルを使用するときに使用予定のデバイスの数だけです。

TurningPoint では、レスpons デバイスの数は、参加者リスト内の参加者数に基づいて、レスpons カウンタまたはレスpons テーブルに表示される数までに制限されます。

レスpons カウンタの詳細については、100 ページの「**レスpons カウンタの追加**」を、レスpons テーブルの詳細については、101 ページの「**レスpons テーブルの追加**」を参照してください。

**注記** プレゼンテーションで使用するデバイスの数または種類を変更する必要がある場合は、もう一度 [レスpons デバイスの設定] にアクセスします。

## 7 [終了] をクリックします。

これでレスpons デバイスを使用する準備ができました。

### 次の手順

レスポンス デバイスと設定の詳細については、『TurningPoint ユーザー ガイド』の **第4章「レスポンス デバイスの設定の管理」** を参照してください。

参加者のデバイスがうまく接続できない場合には、デバイスが通信できているかどうかを確認してください。無線のレスポンス デバイスと vPad の場合、レスポンスが受信されると、画面上に確認メッセージが表示されます。赤外線レスポンス デバイスの場合、レスポンス カウンタ、レスポンス テーブル、またはレスポンス グリッドを使えば、通信していないデバイスを確認することができます。詳細については、100 ページの「**レスポンス カウンタの追加**」、101 ページの「**レスポンス テーブルの追加**」、または 216 ページの「**投票のステータスの表示**」を参照してください。

デバイスの通信を確認するには ...

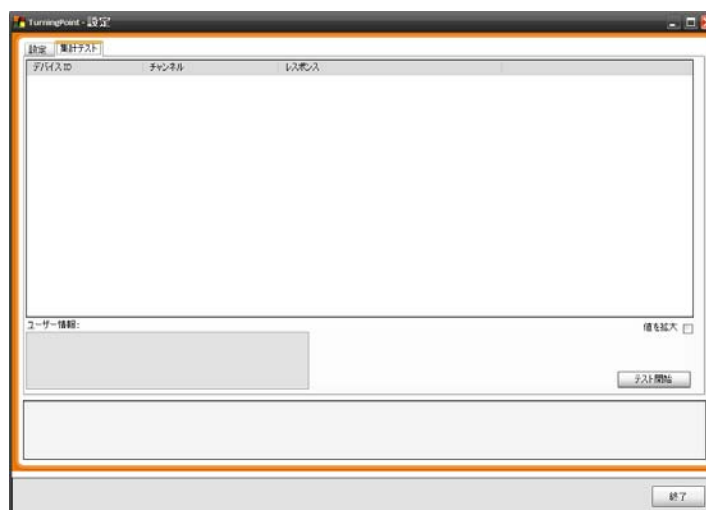
- 1 TurningPoint ツールバーから [ ツール ] > [ 設定 ] を選択します。

[TurningPoint の設定] ウィンドウが開き、2 つのタブが表示されます。[ 設定 ] と [ 投票テスト ] です。

- 2 [ 投票テスト ] タブを選択します。

[ 投票テスト ] 画面が表示されます。この画面を使用して、TurningPoint がデバイスからのレスポンスを受信できるかどうかを確認します。

### [ 設定 ] ウィンドウ : 投票テスト



- 3 [ テスト開始 ] をクリックします。

## 手順 2: レスponse デバイスのセットアップ

TurningPoint でレスponse デバイスからレスponseを受信する準備ができました。レスponseは、[値を拡大]の隣のボックスにチェック マークを入れれば大きくすることができます。

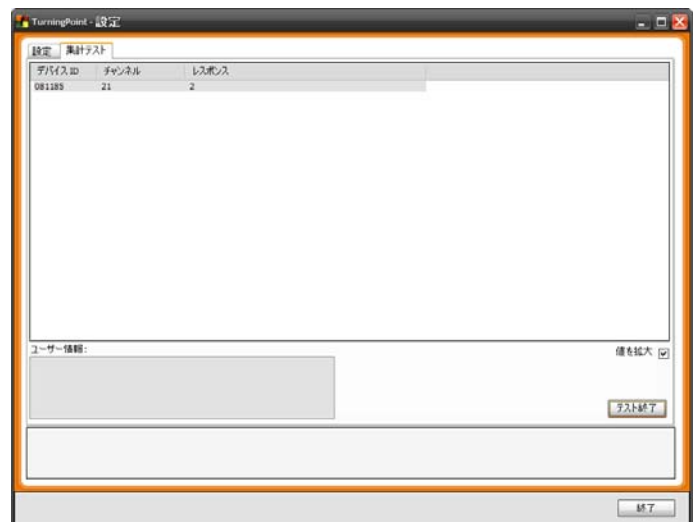
### 投票テスト: レスponseの拡大

デバイス ID	場所	レスponse
081185	21	2

- 4 使用する各レスponse デバイスのキーを押します。

各レスponse デバイスのデバイス ID、チャンネルおよびエントリが、テストされた順序で表示されます。

### 投票テスト: レスponse デバイスのテスト



- 5 [テスト終了]をクリックします。
- 6 [終了]をクリックします。

レスponse デバイスのテストが完了しました。

## 手順 3: 参加者リストの作成

参加者リストでは、プレゼンテーションの実行中にレスポンス デバイスを使用する参加者（生徒、訓練生、調査回答者）を識別します。参加者名と必要な情報は、デバイスの ID とともに保存されます。

単一のインタラクティブなプレゼンテーションで使用する複数の参加者リストを作成することができます。こうすると、複数の出席者と共にプレゼンテーションを使用し、出席者ごとにセッション結果を追跡することができます。

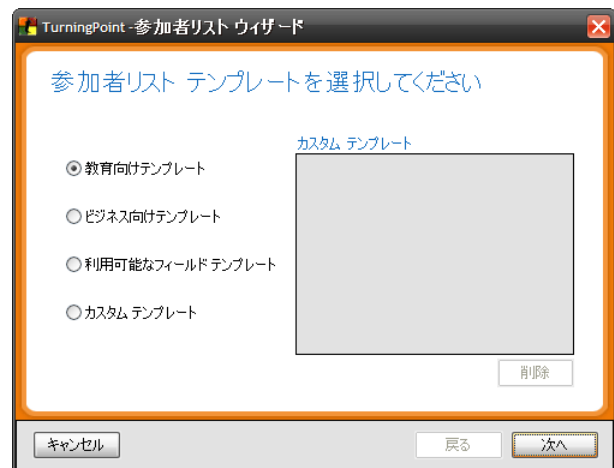
### 始める前に

参加者リストは、使用が許諾されているデバイスの数を超えてはいけません。数がはっきりわからない場合は、レスポンス デバイスをセットアップした後で、デバイスの数をチェックし、プレゼンテーションの実行に使用するコンピュータで以下の手順を実行します。

参加者リストを作成するには …

- 1 TurningPoint ツールバー の [参加者] をクリックし、[参加者リスト ウィザード] を選択します。
- 2 使用する新しい参加者リストのテンプレートを選択します。

### 参加者リスト ウィザード



参加者リスト テンプレートは、以下の中から選択できます。

- ・ 教育向け — 幼稚園～高校および大学以降の教育用プレゼンテーションで使用されるスタンダードの生徒情報（名前、生徒 ID など）が含まれています。
- ・ 企業向け — 企業のフィードバック会議でよく使用される情報のエントリ（名前、会社名、電話番号など）が含まれています。
- ・ 利用可能なフィールド — TurningPoint での使用が定義されているすべての情報エントリが含まれています。

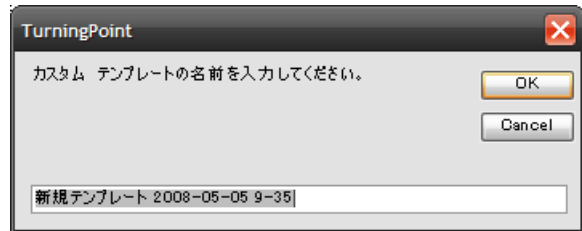
### 手順 3: 参加者リストの作成

- ・ カスタム – カスタマイズした参加者リストを作成すること、テンプレートに名前を付けること、リストから以前作成したテンプレートを選択することができます。

#### 3 続行するには [次へ] をクリックします。

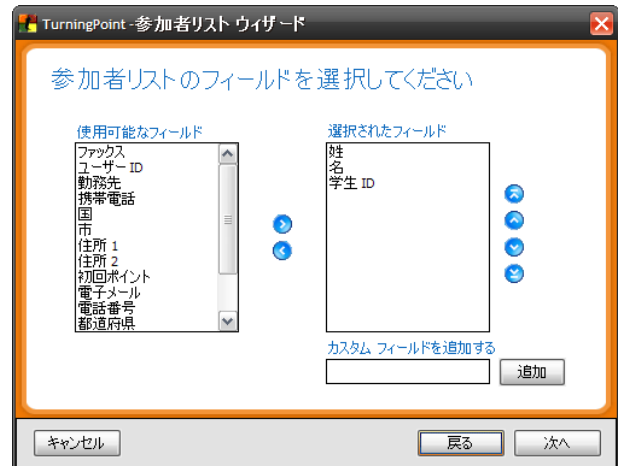
新しいテンプレートの作成を選択すると、テンプレートの名前を入力するように求められます。名前を入力し、[OK] ボタンを選択します。

#### カスタム テンプレートの名前



参加者リストの情報エントリ（フィールドと呼びます）が表示されます。テンプレートを構成するすべてのエントリが、右側の [選択したフィールド] 領域に表示されます。このページを使用して、テンプレートを構成するエントリを追加、削除、または順序変更します。

#### 参加者リスト：フィールドの追加または削除



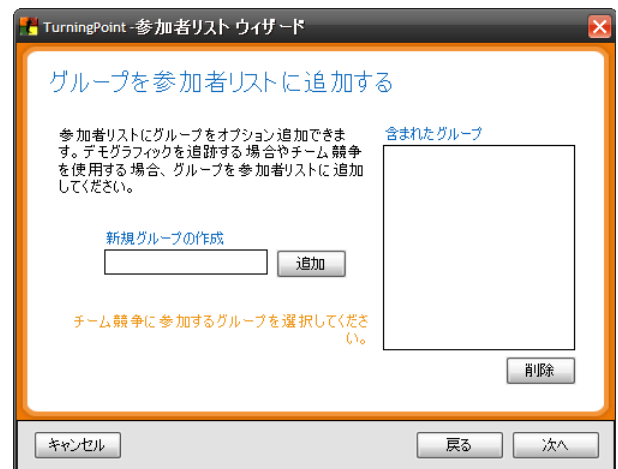
- 4 オプションとして、右 (>) と左 (<) の矢印ボタンを使用して、テンプレートの選択したフィールドを追加または削除します。オプションとして、[使用可能なフィールド] から [選択されたフィールド] にフィールドをドラッグ アンド ドロップします。

**注記** 参加者リスト テンプレートをカスタマイズする方法については、第 5 章「参加者およびチームを追跡する」を参照してください。

- 5 続行するには [次へ] をクリックします。

[グループ エントリ] ボックスが表示されます。この画面を使用して、参加者リストにグループを追加します。グループによりカテゴリ化されるので、チーム間の競争が可能になり、レポートの機会が増えます。

#### 参加者リスト ウィザード : グループの追加



- 6 オプションで、グループ名を入力し、[追加] をクリックします。

**ヒント** チームの競争に含めるグループが選択されていることを確認します。

[含まれたグループ] ボックスにすべてのグループが表示されます。チームの競争に含めるには、グループ名の隣にチェックマークを入れます。チームの競争の詳細については、162 ページの「**チームの競争のセットアップ**」を参照してください。

- この手順を繰り返して、追加のグループを追加します。

- 7 [次へ] をクリックします。

[参加者リストのサマリ] 画面が表示されます。

### 参加者リスト ウィザード : サマリ



- 8 オプションで、参加者ファイルの構成を編集します。

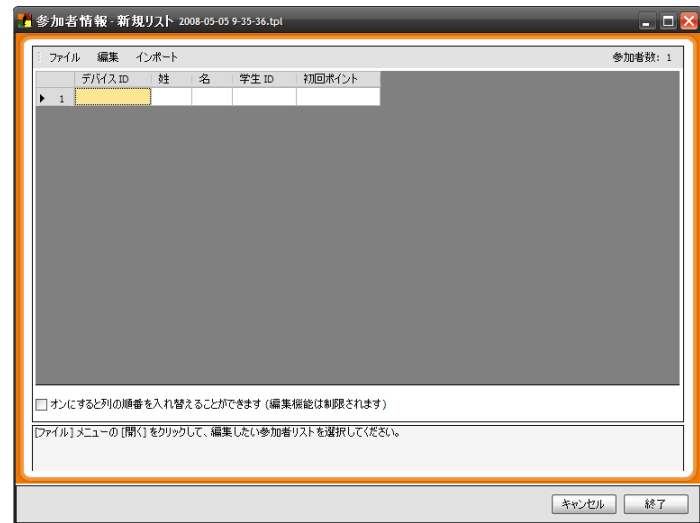
変更できる設定には、参加者リストのファイル名、フィールドの数、およびグループの数があります。ファイル名を変更する場合には、古いファイル名を選択して、ボックスに新しい名前を入力します。フィールドやグループの数を変更する場合には、画面に反映させる設定の横にあるリンクを選択し、編集します。

- 9 [終了]を選択して、参加者リストを作成してファイルに保存します。

[参加者情報] ウィンドウが開き、データの入力、編集、貼り付け、インポートが行えます。

- 10 オプションとして、新しい参加者リストに名前およびその他の参加者情報を追加します。

#### 参加者情報



- 11 [終了] ボタンを選択して [参加者情報] ウィンドウを閉じます。

#### 次の手順

参加者リストの詳細については、[第 5 章「参加者およびチームを追跡する」](#)を参照してください。

## 手順 4: プレゼンテーション セッションの実行

TurningPoint では、作成されたインタラクティブなスライドを発表するのに、PowerPoint のスライド ショー機能を使用します。作成中にスライドをテストしたり、出席者のためにプレゼンテーションを実行するには、以下の手順を実行します。

#### 始める前に

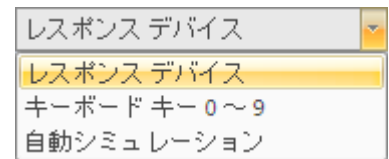
プレゼンテーションを実行する前に、インストールしたレスポンス デバイス レシーバ、キーボードの 0 ~ 9 キー、または自動シミュレーションを使用します。参加者リストを使用することをお勧めしますが、参加者リストに対して [匿名] または [自動] を選択してプレゼンテーション セッションを実行することもできます。

プレゼンテーション セッションを実行するには …

- 1 PowerPoint のメニューから [ファイル] > [開く] を選択し、使用する TurningPoint プレゼンテーションを選択します。
- 2 Turning Point ツールバーから [レスポンス デバイス] メニューを選択し、使用するデバイスを選択します。

TurningPoint では、プレゼンテーションの実行中にレスポンスを提供する方法を選択することができます。選択肢は以下のとおりです。

### レスポンス デバイスの選択

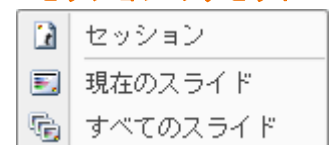


- ・ **レスポンス デバイス** – プレゼンテーションの実行中に、レスポンス デバイスが使用されます。レスポンス デバイスは、使用する前に [設定] に設定されている必要があります。レスポンス デバイスの詳細については、111 ページの「**デバイスの取り付け**」を参照してください。
- ・ **キーボード キー 0～9** – キーボードのキーパッドまたは数字キーを使用して、プレゼンテーションに対して入力を行います。
- ・ **自動シミュレーション** – プレゼンテーションに対してランダムにレスポンスが提供されます。TurningPoint は、提供するレスポンスの数を、設定で指定された、使用予定のデバイスの数に基づいて決定します。たとえば、使用予定のデバイス数を 100 に設定した場合、TurningPoint は、プレゼンテーションの質問ごとに、100 のレスポンスを提供します。デバイスの詳細については、117 ページの「**Remote Poll の有効化**」を参照してください。

### 3 TurningPoint のツールバーから、[リセット]>[セッション]を選択します

このコマンドを実行すると、すべてのアクティブなセッションがメモリからクリアされ、投票を実行することができます。

### セッションのリセット



[セッション] をリセットすると、それ以前に収集したレスポンス データはすべてクリアされます。

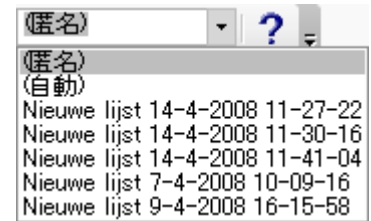
[現在のスライド] をリセットすると、選択されたスライド用に収集されたレスポンス データのみがクリアされます。

[すべてのスライド] をリセットすると、グラフをリセットしますが、それ以前に収集したレスポンス データはクリアされません。新しいレスポンス データは、セッションの末尾に追加されます。

### 4 TurningPoint ツールバーから、[参加者] ドロップダウンの右側にあるドロップダウン メニューを選択し、参加者リストを選択します。

デフォルトの参加者リストは(匿名)と表示されます。[参加者]フォルダにある使用可能なすべての参加者リストが表示されます。デスクトップまたはその他のフォルダにある参加者リストは表示されません。

### 参加者リストの選択



- 5 PowerPoint のメニューから [スライド ショー] > [ショーの表示] を選択します。

プレゼンテーションの先頭のスライドが表示されます。

- 6 マウスの左ボタンを使用して、スライド ショーの進行を制御します。スライドごとに、以下の操作を行います。

オプションとして、スペースバー、Enter キー、右クリックまたはショートカット メニューで [次へ] を選択することで、進行をコントロールすることができます。

- a プレゼンテーションを TurningPoint スライドまで進行して、投票を開きます。

投票は、TurningPoint がレスポンスを受信および記録するための機構です。

スライド ショーに TurningPoint スライドが表示されると、投票が自動的に開きます。投票が実行中は、TurningPoint はレスポンスを受信します。

- b 次のスライドに進むと、ポーリングを閉じ、結果を表示します。

- c 次のスライドに進み、プレゼンテーションを続行します。

### 次の手順

プレゼンテーションにアニメーションなどの追加機能が設定されているために、ランタイムの動作が既定の動作とは異なる場合があります。詳細については、[第7章「プレゼンテーションの実行」](#)を参照してください。

## 手順 5: セッション結果の保存

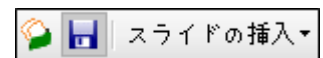
TurningPoint は、セッション結果を一時的に保存しますが、後で確認したり、TurningPoint のレポート機能で使えるように、結果をファイルに保存することができます。

セッションを保存すると、PowerPoint プレゼンテーションはデフォルトで TurningPoint ファイルと共に保存されます。TurningPoint のセッション ファイルから PowerPoint プレゼンテーションを除外することができます。この機能により、TurningPoint の結果データを保存することができます。TurningPoint のセッション ファイルに PowerPoint プレゼンテーションを含めない場合は、[設定] メニューに移動し、[プレゼンテーション] の設定を選択し、[その他] 見出しで [プレゼンテーションを含む] を [True] から [False] に変更します。詳細については、127 ページの「**設定**」を参照してください。

セッション結果を保存するには …

- 1 Turning Point ツールバーの [セッションの保存] をクリックします。

### セッションの保存



[セッションの保存] ダイアログ ボックスが表示されます。

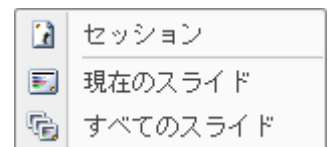
- 2 セッション結果の保存に使用するファイル名を入力します。

現在のシステムの日時を使用してセッション ファイルの名前が表示されます。ファイルに独自の名前を付けると、より簡単にファイルを見つけることができます。

- 3 [保存] をクリックします。

- 4 TurningPoint ツールバーから [リセット] > [セッション] を選択します。

### セッションのリセット



既存のセッション結果がクリアされるので、プレゼンテーションを再実行して新しい結果を取得することができます。

**注記** セッションをリセットするとき、およびセッションを保存せずに TurningPoint を終了しようとしたときには、既存のセッション結果の保存を求めるプロンプトが表示されます。

### 次の手順

レポートを実行して、セッション中に各参加者によって提供されたレスポンスを確認することができます。TurningPoint のレポートでは、保存済みのセッション ファイルが使用されます。レポートの詳細については、**第 8 章「レポート」**を参照してください。